



2026年6月25日

各 位

会 社 名 ディービーエックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 柴崎 浩  
(コード番号：3079 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役執行役員 諏訪 聡志  
電 話 03-6899-3975

## (訂正・数値データ訂正)

### 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)の訂正に関するお知らせ

2026年5月15日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 訂正理由

「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、連結キャッシュ・フロー計算書の投資活動によるキャッシュ・フローに記載の「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」の金額に誤りがあることが判明したため、関連する箇所の訂正を行うものであります。

その他、期末監査において確定した軽微な数値変更や表示科目の見直し等についても、併せて訂正を行っております。

#### 2. 訂正の箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正した箇所に下線を付して表示しております。

以 上



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日  
東

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所  
 コード番号 3079 URL https://www.dvx.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 諏訪 聡志 (TEL) 03-6899-3975  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月12日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	55,988	—	294	—	301	—	225	—
2025年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期 213百万円( -%) 2025年3月期 -百万円( -%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	21.49	—	2.5	1.2	0.5
2025年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(注) 2026年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値及び対前期増減率並びに2026年3月期の対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	25,000	8,842	35.4	842.09
2025年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年3月期 8,842百万円 2025年3月期 -百万円

(注) 2026年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値については記載しておりません。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△1,168	△1,023	△551	4,313
2025年3月期	—	—	—	—

(注) 2026年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	523	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	525	232.7	5.9
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00	—	162.2	—

## 3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,715	0.3	110	44.7	110	34.4	27	△29.4	2.53
通期	57,750	3.1	480	63.2	480	59.2	323	43.3	30.78

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 1社 (社名) 総合医療サービス株式会社、除外 1社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	10,780,000株	2025年3月期	10,780,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	279,044株	2025年3月期	307,944株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	10,489,396株	2025年3月期	10,462,261株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	55,607	10.5	314	△41.5	321	△40.7	255	△37.6
2025年3月期	50,321	9.8	537	△17.7	542	△18.1	410	137.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	24.39		-					
2025年3月期	39.20		-					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	24,907		8,873		35.6	845.06		
2025年3月期	25,537		9,127		35.7	871.63		

(参考) 自己資本 2026年3月期 8,873百万円 2025年3月期 9,127百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度及び前連結会計年度末との比較・分析の記載はしていません。

当連結会計年度の我が国の経済は、緩やかに回復していました。しかしながら、2026年2月28日、アメリカとイスラエルがイランに対して軍事行動を開始しました。その結果として、ホルムズ海峡が封鎖され、中東から原油を積んだタンカーの往来に制約が出ました。今後の見通しにつきましては、中東情勢における地政学的リスクの高まりにより、原材料価格やエネルギー価格の上昇、物流の混乱などが懸念されております。

医療業界におきましても、中東情勢の影響によって、エネルギー価格や各種コストの上昇によって、医療資材の生産コストが高騰していく可能性が高まってきています。診療報酬は即時に価格転嫁できない制度的な制約もあり、今後、医療機関の経営環境が非常に厳しい状況になっていく懸念があります。また、ナフサを原料とする医療資材の供給不足が発生し、必要な時に適切な医療が受けられなくなったりするなど、日常生活にも大きな影響が及ぶ可能性もあり得ます。

このような情勢のもと、当社では、持続可能な医療環境の整備の一翼を担うべく、医療機関のニーズを捉えた最適な商品やサービスの提案に努め、医療の安全、安心のために安定して商品を提供し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

前連結会計年度よりPFアブレーション用カテーテルが新発売されました。この商品は、従来の他のカテーテル商品よりも安全性と手技時間の短縮効果が認められるもので、今後の心臓手術では主力商品になるものと見込まれます。当連結会計年度においても販売数量は増加しましたが、償還価格が抑えられている影響で粗利は低下しました。その他、人件費の増加や戦略的な経費支出を積極的に行ったことから、当連結会計年度の売上高は55,988,774千円、営業利益294,058千円、経常利益301,491千円、親会社株主に帰属する当期純利益225,381千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)
不整脈事業	45,709,445	81.6
虚血事業	4,002,148	7.1
その他	6,277,180	11.2
合計	55,988,774	100.0

#### ① 不整脈事業

主に、PFアブレーション用カテーテル及び心腔内超音波プローブの販売が好調だったことから、当連結会計年度の売上高は45,709,445千円、セグメント利益は4,134,033千円となりました。

#### ② 虚血事業

主に、経皮的冠動脈形成術用穿刺部止血材料及びバルーンカテーテルの販売が好調だったため、当連結会計年度の売上高は4,002,148千円、セグメント利益は449,100千円となりました。

#### ③ その他

主に、TAVIなどのストラクチャー関連の販売が好調だったこと及び子会社の業績を取り込んだ結果、当連結会計年度の売上高は6,277,180千円、セグメント利益は782,266千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、25,000,015千円となりました。主な内訳は現金及び預金が4,315,869千円、受取手形、売掛金及び契約資産が11,928,982千円、電子記録債権が2,098,759千円、商品が3,331,251千円、有形固定資産が1,198,287千円、投資その他の資産が1,364,131千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債の残高は、16,157,236千円となりました。主な内訳は買掛金が14,556,442千円、賞与引当金が346,526千円、退職給付に係る負債が530,962千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、8,842,779千円となりました。主な内訳は利益剰余金が8,477,467千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,313,868千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、営業活動の結果、1,168,850千円の資金の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益302,406千円、減価償却費743,367千円、その他の増加524,587千円等により資金が増加する一方、売上債権の増加1,055,683千円、棚卸資産の増加1,080,009千円、仕入債務の減少527,376千円、法人税等の支払額202,430千円等により資金が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、投資活動の結果、1,023,975千円の資金の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出439,466千円、無形固定資産の取得による支出99,176千円、投資有価証券の取得による支出149,082千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出334,581千円等により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、財務活動の結果、551,040千円の資金の支出となりました。これは主に、配当金の支払額523,327千円等により資金が減少したためであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	38.6	39.4	40.6	35.7	35.4
時価ベースの自己資本比率(%)	48.3	44.3	46.6	38.4	47.5
債務償還年数(年)	—	0.0	—	0.0	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6,721,868.3	11,814.4	—	2,885.6	—

(注) 1 各指標は以下の計算式により算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。

4 2022年3月期の債務償還年数については、有利子負債がないため、記載しておりません。

5 2024年3月期及び2026年3月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

6 当社グループは2026年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期以前については、当社個別の数値を記載しております。

#### (4) 今後の見通し

2027年3月期の見通しにつきましては、引き続き営業活動の強化を図ることから、売上高は堅調に推移すると見込んでおります。当社グループは、比較的粗利率の高い独自商品の開発や販売に注力するほか、高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客の深耕と新規顧客開拓を行うことで、持続的な事業の成長拡大を目指してまいります。

通期の連結業績予想は、売上高57,750百万円(当期比3.1%増)、営業利益480百万円(当期比63.2%増)、経常利益480百万円(当期比59.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益323百万円(当期比43.3%増)を見込んでおります。

なお、当社グループは、2026年3月期より連結決算に移行したため、連結での業績予想に変更しており、今後は個別業績予想は開示いたしません。

業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題として、企業価値及び株式価値の向上を図ることで株主還元を継続的かつ安定的に強化する。配当については、DOE(株主資本配当率)5.0%以上を目途に配当額を決定することを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、2026年3月期の配当金につきましては、1株当たり50.00円(配当性向232.7%)の普通配当を実施することといたしました。

なお、次期(2027年3月期)の配当については、1株当たり50.00円(配当性向162.2%)を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

当連結会計年度 (2026年3月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	4,315,869
受取手形、売掛金及び契約資産	11,928,982
電子記録債権	2,098,759
商品	3,331,251
前払費用	159,401
その他	194,477
貸倒引当金	△819
流動資産合計	22,027,921
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物 (純額)	169,855
車両運搬具 (純額)	14,286
工具、器具及び備品 (純額)	989,148
土地	11,192
リース資産 (純額)	12,289
その他	1,515
有形固定資産合計	1,198,287
無形固定資産	
ソフトウェア	96,871
のれん	164,737
顧客関連資産	148,067
無形固定資産合計	409,675
投資その他の資産	
投資有価証券	451,548
差入保証金	341,152
繰延税金資産	548,301
その他	27,628
貸倒引当金	△4,498
投資その他の資産合計	1,364,131
固定資産合計	2,972,094
資産合計	25,000,015

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2026年3月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	14,556,442
電子記録債務	88,073
1年内返済予定の長期借入金	12,660
未払法人税等	66,017
リース債務	3,699
賞与引当金	346,526
その他	396,950
流動負債合計	15,470,370
固定負債	
長期借入金	6,075
退職給付に係る負債	530,962
リース債務	9,726
資産除去債務	54,020
繰延税金負債	34,086
その他	51,994
固定負債合計	686,865
負債合計	16,157,236
純資産の部	
株主資本	
資本金	344,457
資本剰余金	314,730
利益剰余金	8,477,467
自己株式	△293,930
株主資本合計	8,842,724
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	709
退職給付に係る調整累計額	△654
その他の包括利益累計額合計	54
純資産合計	8,842,779
負債純資産合計	25,000,015

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	55,988,774
売上原価	50,623,375
売上総利益	5,365,399
販売費及び一般管理費	5,071,341
営業利益	294,058
営業外収益	
受取利息	4,731
受取配当金	4,352
その他	3,175
営業外収益合計	12,259
営業外費用	
支払利息	881
投資事業組合運用損	2,124
為替差損	1,819
営業外費用合計	4,825
経常利益	301,491
特別利益	
固定資産売却益	2,085
特別利益合計	2,085
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	1,170
特別損失合計	1,170
税金等調整前当期純利益	302,406
法人税、住民税及び事業税	165,738
法人税等調整額	△88,713
法人税等合計	77,024
当期純利益	225,381
親会社株主に帰属する当期純利益	225,381

連結包括利益計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
当期純利益	225,381
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△12,958
退職給付に係る調整額	1,514
その他の包括利益合計	△11,444
包括利益	213,936
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	213,936
非支配株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	344,457	314,730	8,779,272	△324,362	9,114,098
当期変動額					
剰余金の配当			△523,602		△523,602
親会社株主に帰属する 当期純利益			225,381		225,381
自己株式の処分			△3,583	30,431	26,848
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△301,805	30,431	△271,373
当期末残高	344,457	314,730	8,477,467	△293,930	8,842,724

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差 額金	退職給付に係る調整累 計額	その他の包括利益累計 額合計	
当期首残高	13,668	△2,169	11,499	9,125,597
当期変動額				
剰余金の配当				△523,602
親会社株主に帰属する 当期純利益				225,381
自己株式の処分				26,848
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△12,958	1,514	△11,444	△11,444
当期変動額合計	△12,958	1,514	△11,444	△282,817
当期末残高	709	△654	54	8,842,779

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	302,406
減価償却費	743,367
のれん償却額	27,456
株式報酬費用	29,977
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,601
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	30,261
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,337
受取利息及び受取配当金	△9,083
支払利息	881
為替差損益 (△は益)	786
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,124
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,085
固定資産除却損	1,170
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,055,683
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,080,009
仕入債務の増減額 (△は減少)	△527,376
その他	524,587
<b>小計</b>	<b>△975,280</b>
利息及び配当金の受取額	9,798
利息の支払額	△938
法人税等の支払額	△202,430
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,168,850</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△439,466
有形固定資産の売却による収入	2,085
無形固定資産の取得による支出	△99,176
投資有価証券の取得による支出	△149,082
差入保証金の差入による支出	△59,750
差入保証金の回収による収入	51,404
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△334,581
その他	4,590
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,023,975</b>

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△55,211
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,932
自己株式の処分による収入	30,431
配当金の支払額	△523,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	△551,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	△786
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,744,652
現金及び現金同等物の期首残高	7,058,521
現金及び現金同等物の期末残高	4,313,868

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、商品分類に応じて「不整脈事業」、「虚血事業」、「その他」に区分されますが、主力事業である「不整脈事業」は販売代理店業を、「虚血事業」は国内総代理店業及び販売代理店業を営んでおり、事業ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

そのような状況から、当社グループは「不整脈事業」及び「虚血事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不整脈事業」は、心臓ペースメーカ、ICD(植込み型除細動器)、電極カテーテル、アブレーション(心筋焼灼術)カテーテル等を販売しております。「虚血事業」は、エキシマレーザ血管形成システム、冠動脈ステント等を販売しております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、売上総利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	3,988,105	—	3,988,105	—	3,988,105
植込型除細動器	2,430,214	—	2,430,214	—	2,430,214
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	1,756,913	—	1,756,913	—	1,756,913
電気生理検査用カテーテル	11,410,260	—	11,410,260	—	11,410,260
心腔内超音波プローブ	5,047,269	—	5,047,269	—	5,047,269
熱アブレーション用 カテーテル(機能付き)	4,787,329	—	4,787,329	—	4,787,329
熱アブレーション用 カテーテル	77,044	—	77,044	—	77,044
冷凍アブレーション用 カテーテル	269,797	—	269,797	—	269,797
PFアブレーション用 カテーテル	7,582,367	—	7,582,367	—	7,582,367
エキシマレーザー	—	111,796	111,796	—	111,796
その他	7,685,203	3,870,168	11,555,372	6,277,180	17,832,552
顧客との契約から生じる 収益	45,034,505	3,981,964	49,016,470	6,277,180	55,293,651
その他の収益	674,939	20,184	695,123	—	695,123
外部顧客への売上高	45,709,445	4,002,148	49,711,594	6,277,180	55,988,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	45,709,445	4,002,148	49,711,594	6,277,180	55,988,774
セグメント利益	4,134,033	449,100	4,583,133	782,266	5,365,399

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科事業及び消化器事業、子会社の臨床検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

3 セグメント資産、負債その他の項目の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
エム・シー・ヘルスケア株式会社	6,545,912	不整脈事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当第1四半期連結会計期間に総合医療サービス株式会社の全株式の取得を行い子会社化したことから、その他に含まれている臨床検査事業において、新たにのれんが192,193千円発生しました。なお、のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(単位：千円)

	不整脈事業	虚血事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	27,456	—	27,456
当期末残高	—	—	164,737	—	164,737

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	842円09銭
1株当たり当期純利益	21円49銭

(注) 1 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,842,779
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,842,779
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,500,956

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	225,381
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	225,381
期中平均株式数(株)	10,489,396

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。